

「ジャーブネット家づくりプロジェクト Vol.21」

団塊世代に懐かしい、ジュニア世代に新しい 「和み(なごみ)系住宅」を新発売 自由設計・太陽光発電システム搭載のオール電化住宅

団塊世代には懐かしく、ジュニア世代には新しい。ジャーブネットがそんな新しい「和み」系コンセプトの住宅「HYUGA-J」を300棟限定で新発売。二世帯同居志向が緩やかな高まりを見せるなかで世代を超える価値の具現化を目指しました。

「和み(なごみ)」系のコンセプトは「和」の精神の本質。現代は競争社会・拝金主義・ニート増殖など刺激の強さと、未来予測の難しさでストレスの大きい社会と言われています。その反対に、「エコ」や「ロハス」など環境に調和していこうというライフスタイルも注目されてきています。「和み」は懐古趣味の和風ではなく、「和」の精神の本質を取り入れるためのコンセプトです。奥ゆかしさ、落ち着き、思いやり、もてなしといった触れるものを和ませるもので、強い主張を控え、周囲と調和し広く暖かく受け入れる文化と解釈できます。



イメージ画は市街地対応タイプ(30坪)例

建物例に見える「和み系住宅」の特徴と住まい方提案

イメージ画に見える外観上のポイントは全面に大きくとった縦格子(たてごうし)です。二階のバルコニーには、縦格子によって和らげられたやさしい光線が届きます。視覚効果でバルコニーの様子は穏やかに遮蔽され、加えて建物のシルエットに奥深さを演出しています。外壁は掘りの深い厚みある材質とし、落ち着いたカラーによる「和モダン」を提案しています。間取りでは奥まった玄関ドアと独立したエントランスホールが「もてなし」を形とし、二階には新しい感覚の畳コーナーを提案。同時に大型のウォークインクローゼットを二つ設えて、地震時の家具転倒対策としつつ、すっきり片付いた生活空間も提案します。環境と調和して無駄なく暮らそうというコンセプトは太陽光発電システムやエコキュートの採用にも一貫しています。構造はジャーブネット自慢の「新世代ハウス」。美しさと資産価値を実現するデザインコードを駆使する自由設計の思想はそのままに、新領域を提案します。

団塊世代とそのジュニアが主な購買層

団塊世代が求める日本的なものはジュニア世代に新しいと映る。これは現在の日本のあらゆるジャンルで語られ始め、大きな流れを形成しつつあります(映画「ALWAYS 三丁目の夕日」のヒットなど)。この購買力のある団塊世代と購買意欲の高いそのジュニア世代の両方に訴求できることを期待しています。

共同購入で豪華仕様を実現

全国一斉のキャンペーンとすることでジャーブネットの共同購入により高級オープンキッチンや家具調シャンプードレッサーなどクラスを超えた標準装備を可能としています。(詳細はお問い合わせください)

<本件についてのお客様からのお問い合わせ先> ジャーブネット事務局 TEL : 048-631-1901

<本件についての報道関係からのお問い合わせ先> 株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・杉田(そまだ)

Email : horikosi@aqura.co.jp TEL : 048-631-3020(ダイヤルイン) FAX : 048-631-2334

本リリースは「国土交通記者会」「国土交通省専門紙記者会」にて配布しています。

写真データは下記URLよりダウンロードすることができます。 URL : <http://www.aqura.co.jp/news.html>

家づくりプロジェクト専用ホームページ(2006年9月8日オープン予定) URL : <http://www.jahbnet.jp/pj21>

家づくりプロジェクト Vol.21 の概要

名称：JAHBnet 全国一斉家づくりプロジェクト Vol.21 「光と和む暮らしフェア」

略称：「光と和む暮らしフェア」

期間：2006年9月8日（金）～2006年11月26日（日）

価格：1380万円（イメージ画の建物・自由設計のため価格例となります。消費税込み）

新世代ハウス基準（概要）

- 1) 財団法人住宅保証機構などによる10年間の瑕疵保証制度を利用すること
- 2) 地耐力調査をし、適切な地盤対策を実施すること
- 3) 住宅性能表示制度・劣化対策等級3の基準に適合すること
- 4) 住宅性能表示制度・高齢者配慮等級または省エネルギー対策等級で3の基準に適合すること
- 5) 住宅性能表示制度・ホルムアルデヒド発散等級3の基準に適合すること
- 6) 住宅性能表示制度・感知警報装置設置等級2以上の基準に適合すること
- 7) 含水率20%以下のプレカット構造材を使用すること
- 8) 剛床または根太なし工法とすること
- 9) 床下点検口および天井点検口を設置すること
- 10) 外壁及び軒裏を防火構造とすること
- 11) 屋根仕上材を不燃材料とすること
- 12) 内装下地に12.5mm以上の厚さの石膏ボードを使用すること

経済産業省の「ジャパネスクモダン」

日本のブランド価値を確立しようという経済産業省の政策で、日本らしさの特別なもの、普遍的なものの両方を包含して新日本様式を追及するもの。

デザインコード

住宅に限らず形あるものの美しさには一定の法則性があることに着目し、それを住宅設計の場で活用できるようアキュラホームがコード（原則）化したものです。

デザインコードは2006年春からジャープネット会員工務店で運用を開始しました。これにより地域工務店の課題とされていたデザイン力が飛躍的に向上し、高額な住宅でなくても美しく資産価値の高い住宅が提供できるようになり社会資本の充実にも貢献できます。

アキュラホーム

「日本の住まいを安くする」事をミッションとした木造住宅供給に取り組んでいるビルダー。住宅事業の中で培った経験や技術力を活かして住宅建築合理化システム「アキュラシステム」を開発し、これを駆使することでお客様本位の高品質でありながら坪30万円以下で建築可能な注文住宅を提供し続け、業界をリードしています。また、全国の地域ビルダー・工務店約631社によるネットワーク「JAHBnet（ジャープネット）」（旧アキュラネット）を主宰し、そのスケールメリットを活用して、高品質ながら低価格の住宅の開発と全国展開、さらに保証などの安心の制度を導入しています。特に、2001年に坪21万円からというローコスト住宅「M21」で話題になって以来、高気密高断熱（次世代省エネ）住宅、太陽光発電搭載住宅、オール電化住宅、などを相次いで坪30万円以下で発売し話題を集めました。

こうした全国工務店の活性化につながる活動は、国や官庁、地方公共団体からも注目され、経済産業省における「次世代省エネ住宅普及ビジネスモデル」の参考とされました。また、2005年10月には自らのIT活用に加え、遅れているといわれる住宅建設業界でのIT活用の普及に顕著な貢献があったということで「経済産業大臣表彰」を受賞しました。最近では東京都による「住宅価格3割引き下げ実証実験」で圧倒的な低価格提案（他提案が2/3に引下げるなか1/2の価格を提案）をもって事業予定者に選定されました。

ジャーブネット (JAHBnet)

弊社は1978年の創業以来、高品質で低価格な住宅の供給に取り組み、94年に独自の住宅建設合理化ノウハウを体系化した「アキュラシステム」を全国工務店に供給開始し、現在2400社以上の工務店に導入されています。98年に(財)日本住宅・木材技術センターの「木造住宅供給支援システム」に認定され、その仕組みをもって工務店組織「アキュラネット」(現ジャーブネット)を設立。全国規模のネットワークによるスケールメリット、地域密着企業ならではのダイレクトサービスを併せ持つネットワークとしてすでに約8年にわたり全国のユーザーに「良質な住宅を適性価格」で提供してきました。アキュラネットには600社あまりが加盟し、2005年度の木造住宅累計販売棟数は9102棟、フランチャイズチェーン・ボランタリーチェーンの販売棟数ランキングで1位となっています。こうして技術力のある地域工務店・ビルダーが集まることでスケールメリットを創出し、加えて第三者機関による工事検査や住宅保証制度による保険、建設前の地盤調査などを実施することで、良質・低価格・安心の制度を確立しました。

そして2005年9月16日よりお客様の多様なニーズに応えるために、名称を「JAHBnet(ジャーブネット)」と変更し、**業種の壁を超えた新しい連携を取り入れ**、より理想に近い住宅供給を実現する次世代型住宅供給ネットワークとして生まれ変わりました。住宅産業研究所データによる

今回で21回目の全国キャンペーン「家づくりプロジェクト」

販売期間・棟数を限定した大量一括仕入れの実施や広告宣伝などの共有により、住宅供給におけるトータルプライスダウンを実現して2001年10月に「家づくりプロジェクト」はスタートしました。第1回と3回では業界最低価格帯となる坪21万円台からの企画住宅「M21」「n21」を開発、約2ヶ月間でそれぞれ600棟以上を販売するなど、大きな反響を呼びました。その後、高気密・高断熱住宅「はるの」(第6回)や、工務店・ビルダーグループとして初めて太陽光発電住宅の販売を可能とした太陽光発電搭載・オール電化住宅「HYUGA」(第10回)、2004年7月には経済産業省「次世代省エネ住宅普及促進研究会」参加の成果として経済産業省ビジネスモデル対応の次世代省エネ住宅「はるのS I」(第13回)を発売。2005年には年間光熱費をゼロにする省エネ住宅「HYUGA zero(ひゅうがゼロ)」を1500万円で発売して話題となりました。

実務研修会

家づくりプロジェクトでは通常商品ではなく新コンセプトや特別仕様を扱うので、お客様によりよい商品情報を提供するために実務研修会が開催されます。講習ばかりでなく会場には今回のプロジェクトで扱う住宅設備類も実物が設置され、見て触れて質問して商品知識を蓄積した上でプロジェクトに臨みます。このような大掛りで実効性の高い研修会を開催できるのはジャーブネットが部資材メーカーも参加するユニークな住宅建築ネットワークだからです。これに限らず営業担当者の実践的な知識の豊富さは、大手企業のように施工を別会社に委託せず自社施工によるジャーブネット会員の強みといえます。



住宅性能保証制度で最も低い保証料率が適用

(財)住宅保証機構では、品質の高い住宅を供給し保証事故が少ない団体に対し、住宅性能保証制度の住宅登録料について最も大きな割引率が適用されています。この適用を受ける業者は、以下の条件が必要となります。

1. 過去5年間に年間1,000戸以上の性能保証住宅を供給し、その損害率が10%未満である優良団体。

(ジャーブネットは2005年6月現在での事故率は0.1%未満です)

2. さらに耐久性向上に関する品質管理体制について、方法、手順、基準などが明確に示されていること

「新世代ハウス」によって建築する住宅は、この条件を満たしており、住宅に対する事故率が最も少なく、施工品質管理に関わる基準を満たした良質な住宅を供給する、品質管理体制の高さを公式に認められたことを意味します。

この適用が受けられる団体は、ジャーブネットを含めて2団体のみです。

実大耐震実験

昨年の3月に、「新世代ハウス」を三次元振動台に設置して、兵庫県南部地震波1波と新潟県中越地震で記録された震度7クラスの地震波2波の合計3波を再現し、同じ建物を一日のうちに3回振動させるという過酷な条件を設定して実験をおこないました。3回の大規模地震に被災したにもかかわらず、実験前の状態に比較して接合部の緩み、金物の変形、部材の破損などが全くなく高い耐震性能が確認できました。本実験では、単に建物の耐震性能の実証を行なうだけでなく、「居住者の生命や生活を守り、被災後も安心して住み続けられる」ことを目的に、住宅内に設置した家具調度品・食器・家電製品・建具・住宅設備などの挙動を研究し、さらに屋内の安全確保について色々な耐震アイテムの効果も検証しました。地域工務店の組織でこの種の実大実験が行われたことは非常に珍しいことであり、地域工務店が供給する住宅に実験で実証された性能が与えられるということに大きな意義があったとされています。

耐震実験で強さ実証済みの新世代ハウス

「HYUGA-J」は震度7クラスの地震を連続3回被災させた実大耐震実験で強さが実証された、安心の新世代ハウスです。新世代ハウスは旧建設省が開発し、(財)日本住宅・木材技術センターが認定する「木造住宅供給支援システム」により建築される住宅です。ジャープネットではこの基準に独自の性能基準を上乗せした高性能住宅を「ジャープネット・新世代ハウス」として供給しています。性能面では品確法に対応、住宅性能表示制度において、主要6項目(倒壊防止、損傷防止、耐風、劣化対策、維持管理、空気環境)で最高ランクを満たしており、さらに保証面においても施工前の全棟地盤調査の実施、施工中での第三者機関による工事検査、さらには引渡し後の定期的アフターメンテナンスや(財)住宅保証機構などによる10年性能保証などが盛り込まれています。

<アキュラホーム会社概要>

社名	株式会社アキュラホーム
代表取締役社長	宮沢俊哉
所在地	埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-10-16 シーノ大宮ノースウィング15階
電話	048-631-2333(代)
創業	1978(昭和53)年9月
資本金	9,314万円
従業員数	452名(06年4月1日現在)
事業	建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング
売上高	159億円(06年2月期)
ホームページ	http://www.aqura.co.jp

家づくりプロジェクト Vol.21 「光と和む暮らしフェア」参加会員リスト 全国 81 社

北海道	室蘭市	三井国土開発(株)	0143-43-0995			
青森県	十和田市	株アベシステム	0176-20-1260	青森市	株協和	017-739-7579
青森県	十和田市	紺野建設(株)	0176-23-7151			
岩手県	釜石市	有木村工務店	0193-55-2206	北上市	株千田工務店	0197-65-2562
宮城県	名取市	株遠藤工務店	022-382-2276	加美郡	株鶴秀工務店(株)	0229-63-5656
宮城県	東松島市	株花坂ハウス工業	0225-87-3775	岩沼市	株平塚工務店	0223-22-2710
山形県	山形市	アイリスホーム	023-681-4330			
福島県	いわき市	有住倶楽部	0246-56-2882			
茨城県	守谷市	株アゲル	0297-20-0666	猿島郡	大野建築	0280-86-6557
茨城県	つくば市	株カイテキホーム	029-877-0306	水戸市	コスモ総合建設(株)	029-248-5358
茨城県	ひたちなか市	有ハウジング工房	029-285-1225	下妻市	横関建設(株)	0296-43-6011
栃木県	宇都宮市	有矢野住建	028-665-4186			
群馬県	太田市	株内田建設	0276-38-3438	高崎市	株浦野建設	027-364-1618
群馬県	前橋市	株誠興建設	027-268-3239	高崎市	パステルホーム	027-360-6068
群馬県	高崎市	株山里建設	027-330-5252			
千葉県	我孫子市	青山都市建設(株)	04-7182-0141	柏市	イワサキハウス	04-7172-2828
千葉県	流山市	株クレ(CLE)総合研究所	04-7155-0061	君津市	株新葉ホーム	0439-55-1440
千葉県	千葉市	東進ハウジング(株)	043-274-1064			
東京都	目黒区	株伊庭工務店	03-3724-0876	東大和市	株小林建設	042-565-5671
東京都	八王子市	株サンワ住建	0426-20-2833	足立区	株東京技建	03-5686-3030
神奈川県	県藤沢市	株インテグラルホーム	0466-28-5211	川崎市	有カイザーホーム	044-328-2900
神奈川県	愛甲郡	株桜建築事務所	046-286-2722	横浜市	株スズコー	045-952-3141
富山県	魚津市	伊藤工業(株)	0765-32-8380			
石川県	金沢市	有アスワンホーム	076-291-3436	白山市	株和泉	076-276-3110
石川県	小松市	キャロットホーム	0761-21-1289	白山市	西内工務店(株)	076-276-2457
福井県	三方上中郡	久保田工業(株)	0770-45-0220	福井市	福井システム住宅(株)	0776-24-8748
福井県	福井市	株リーフハウス	0776-54-0098			
山梨県	甲斐市	佐藤工業(株)	055-276-5646	中巨摩郡	株マツキ	055-275-1020
山梨県	笛吹市	木暖の家	055-261-7788			
長野県	下伊那郡	エムホーム	0265-34-3381	大町市	共栄ホーム	0261-22-0143
長野県	上田市	千曲建設工業(株)	0268-22-3835	松本市	ハウスデザイン	0263-85-7662
岐阜県	多治見市	株中日ホーム	0572-24-0267	中津川市	長尾建設(株)	0573-66-0318
岐阜県	各務原市	Yyハウジング	058-382-3688			
静岡県	静岡市	株総合開発	0543-48-3053	浜松市	マル祐戸田建築(株)	053-542-0727
愛知県	津島市	株鈴木工務店	0567-26-1234	江南市	D-Vavi House	0587-57-2811
三重県	志摩市	株上村工務店	0599-43-2402	鈴鹿市	キララホーム(株)	059-380-6160
三重県	伊賀市	森大建地産	0595-48-0331			
滋賀県	近江八幡市	ケイズホーム	0748-31-3399	東近江市	平和奥田(株)	0748-22-7888
京都府	京都市	ガルウィング	075-581-1966	京都市	有デザインハウス	075-605-2800
大阪府	高槻市	クリタホーム	072-696-0041	枚方市	田原建設(株)	072-809-5865
大阪府	大東市	デイズホーム	072-863-3777	高槻市	パーナホーム	072-660-5503
大阪府	北葛城郡	有前昌工務店	0745-55-7656			
兵庫県	赤穂市	有結城建設	0791-46-3011			
鳥取県	境港市	株アート建工	0859-42-6636	松江市	有大廣建設	0852-37-1199
鳥根県	出雲市	ライブハウス	0853-28-9641			
岡山県	岡山市	株ビゼン	086-243-2222			
広島県	東広島市	トヨキタホーム	082-437-0788			
徳島県	鳴門市	さくらホーム(株)	088-689-4701	徳島市	ラッフルズホーム	088-611-1515
香川県	坂出市	明石建設(株)	0877-47-4510			
愛媛県	松山市	オクトハウス(株)	089-934-6160			